

吾妻山

○火山活動度レベル（平成17年5月）

1（静穏な火山活動）

○概況

火山活動は穏やかに経過しました。

地震活動の状況

火山性地震はありませんでした。

火山性微動はありませんでした。

モホ面付近（深さ 30km 前後）が震源と推測される低周波地震は4回観測されました。

噴気活動の状況

遠望観測（監視カメラ）では、大穴火口付近（一切経山南側山腹）の噴気の高さは30m以下で、変化はありませんでした。

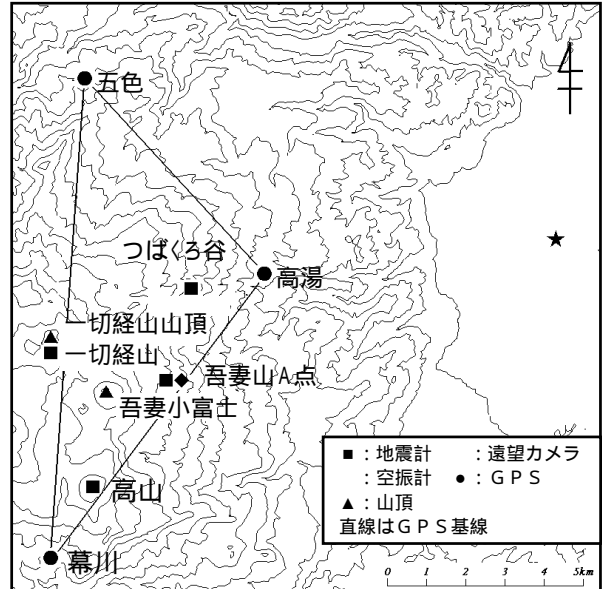
地殻変動の状況

G P S 連続観測では、火山活動によると考えられる変化はありませんでした。

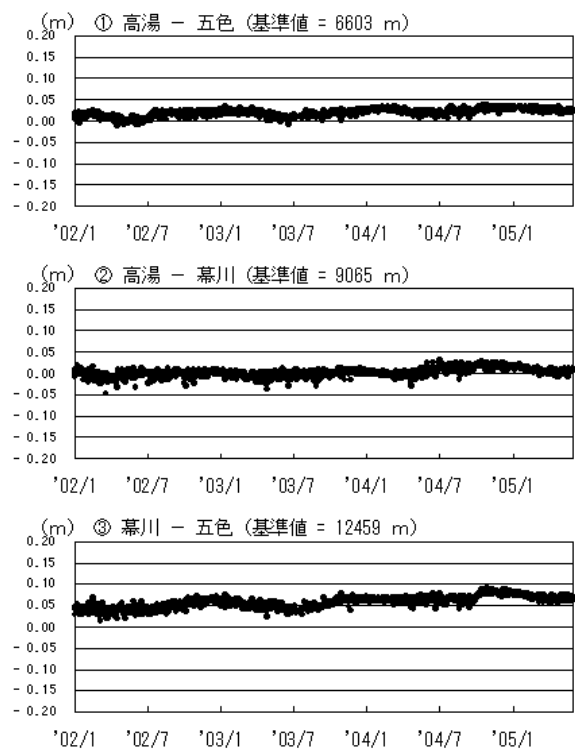
現地観測の状況

5月17日～18日に大穴火口を中心とした現地観測を実施しました。赤外熱映像装置¹⁾による地表面温度分布、及びサーミスタ温度計²⁾による噴気、地中温度の観測結果では、噴気地熱地帯の状況に変化はなく、引き続き静穏な状況であることを確認しました。

- 1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する機器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 2) サーミスタ温度計は、センサーを直接熱源に当てて温度を測定する機器である。



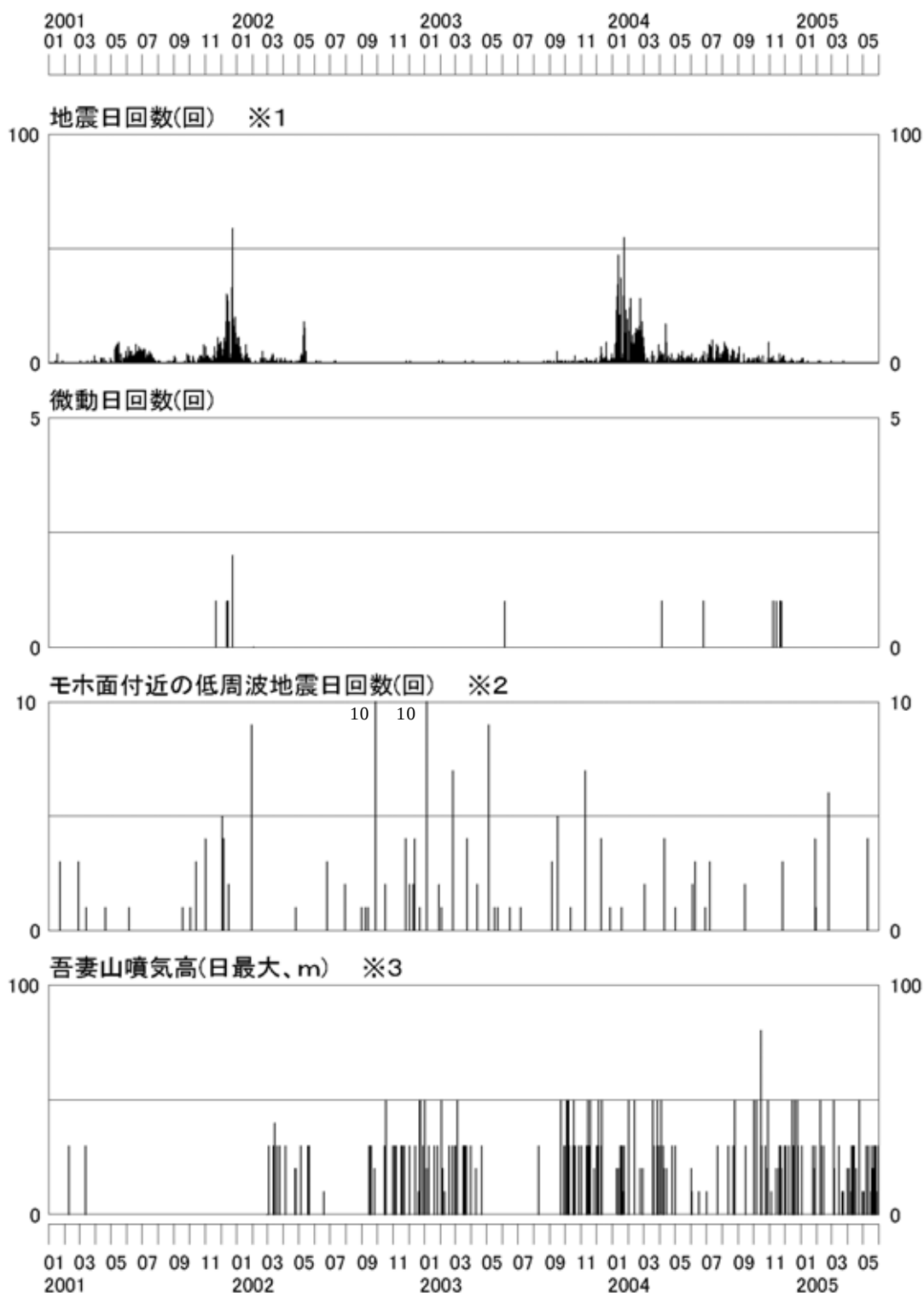
吾妻山火山観測点配置図



G P S 基線長変化図（2002.1～2005.5）

吾妻山 活動一覧

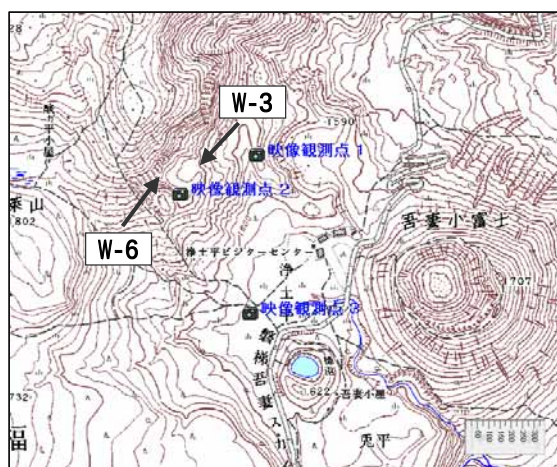
2001/01/01～2005/05/31



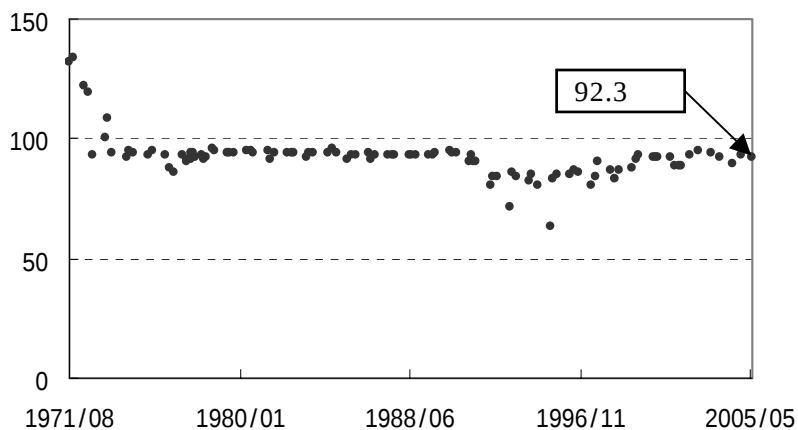
- 1 地震回数カウント基準を過去にさかのぼり変更しました。
このため、2004年9月以前の資料の日回数グラフと違ってきます。
- 2 東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所、及び気象庁のデータを基に作成しています。
- 3 2002年2月以前は定時及び随時観測データ。
2002年3月以後は収録データにより全時間を精査。

吾妻山現地観測の状況

5月18日に、現地観測を実施しました。赤外熱映像装置による地表面温度分布、及びサーミスタ温度計による噴気、地中温度の観測結果では、前回（2004.10.28）と比べ大きな変化はなく、大穴火口付近の噴気、地熱の状況に異常はみられませんでした。



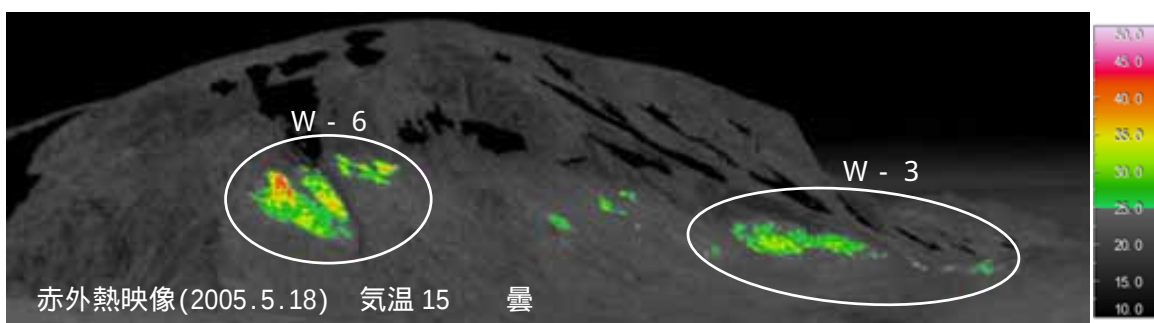
赤外熱映像観測地点図



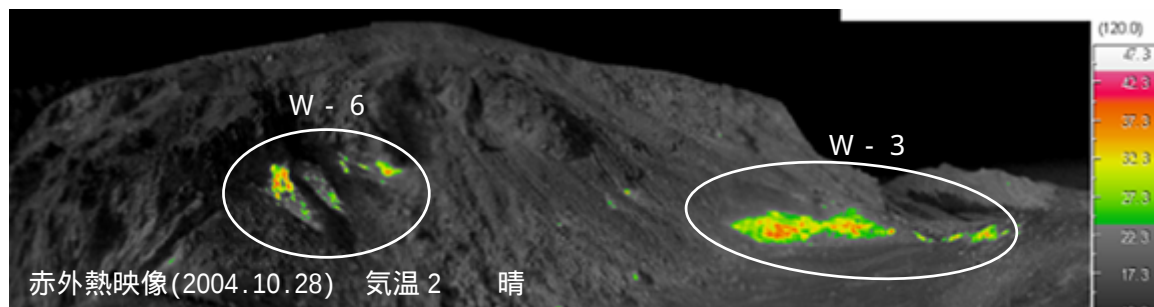
八幡焼(W-3b)の噴気温度変化図
(1971年8月～2005年5月)



可視映像(2005.5.18撮影)



赤外熱映像(2005.5.18) 気温15 曇



赤外熱映像(2004.10.28) 気温2 晴

映像観測点2からの可視画像（上）と赤外熱映像（中、下）

赤外熱映像で色のついていいる領域は周囲に比べて温度の高い領域(地熱地帯)を示しています。
なお、赤外熱映像では日射の影響で観測点（W-3、W-6）以外でも温度が高くなっている所があります。